



# 九月定例市議会

## 常任委員 教育委員 決定される

△第六回定例市議会は、九月十三日から二十八日まで織物組△合で開かれました。提出されたもの議案十七件請願十六件△件陳情六件を審議し、ほかに七名の議員から市政に関する△一般質問がありました。



佐藤議長



伊東副議長

## 新教育委員満場一致で同意

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が十月一日から施行されることになりました。

今までの教育委員は公選であつたのが、改正法では市長が議会の同意を得て任命することに改正されたものです。

委員の数は五人で、教育長もこの委員のうちから任命されます。

## 正副議長の選挙

開会初日、議長から提出された辞表が受理され、即日選挙を行いました。

投票の結果二十五票で前議長佐藤氏が再選されました。

会期の最終日に諸橋君太郎副議長から辞表の提出がなされました。



総務委員長



建設委員長



産業委員長



厚生委員長



議会運営委員長

## 新常任委員決る

地方自治法の改正に伴つて今までの委員会条例を全部改正し、四つの常任委員会としました。

▲総務文教委員 八人  
 ◎小林慶次 ○高橋忠作  
 ◎小川源次 ○高橋忠作  
 ◎守野 渡辺勇之助  
 ◎柳村 守男 斎藤 勇吉  
 ◎佐藤源治郎 斎藤 勇吉  
 ◎佐藤 春雄 桜井 藤雄  
 ◎建設委員 八人  
 ◎高林幸平 ○西片俊吉  
 ◎本田 新助 外山 兵衛

▲産業委員 七人  
 ◎野沢喜之七 川田仁一郎  
 ◎椿 明 佐藤萬一郎  
 ◎大橋三賢 ○八木金吾  
 ◎倉茂与三郎 石田 藤蔵  
 ◎山井龍三郎 藤沢安兵衛  
 ◎斎藤 富雄  
 ◎厚生委員 七人  
 ◎山井五郎 ○多田伊二  
 ◎佐藤 淳一 伊東 義正  
 ◎星野 淳一 諸橋君太郎  
 ◎磯部 城次

あつて受理され、直ちに後任者の選挙が行われ、伊東義正氏が副議長に選ばれました。

九月三十日づけで栃尾市へ合併することになった中野侯、半蔵金村の現議員は、合併と同時に議員の職を失うので、両地区とも行政に空白を生じては困るから次の改選期まで、各一名を市議会に参与を認めてほしいと陳情があり、採択となつて、オブザーバーとして

議会に出される請願や陳情が今までは会期の当日などに提出するものもあつて、会期の上にも困つていたのであります。

今後はその会期に審議したいと請願、陳情は議会招集の告示までに提出していただくことにいたしました。

陳情が今までは会期の当日などに提出するものもあつて、会期の上にも困つていたのであります。

今後はその会期に審議したいと請願、陳情は議会招集の告示までに提出していただくことにいたしました。

提出は早く、告示以後提出されたものについては次の議会に審議することになります。御了承願います。(議会の招集告示は会期日の七日前となっております。)

◎は委員長、○は副委員長

文化祭に御協力を  
 きたる十一月三日文化の日には、毎年皆さんの御協力により文化祭を行なつてまいりました。

今年も公民館事業の一つとして実施することになり、その大要は次のとおりであります。

皆さんの御協力をお願いいたします。

美術展、考古学展、華道展、絵画展、芸術展、菊花展、柔道大会、剣道大会、民謡大会、卓球大会、野球大会、バレー大会、籠球大会、盆裁展、シヤモ展、幼児画展、栃尾市各地区対抗囲碁将棋選手権大会、切手展、電気展

## 「広報とちお」の 発刊によせて

栃尾市教育委員会 委員長 石田 務

「広報とちお」の発刊によつて、市民は一般市民に知らせ、市民はそれを知ることによつて、栃尾市最善の建設が行なわれ得るものと考へます。

市行政はもろもろ、人間生活のすべての営みは「世間の理解と、信頼と支持を」得るものでなければなりません。

もし、公衆とのつながりを守つた広報活動が、不完全であると、疑惑や、反感や不信の、好ましくない事態が起る心配があります。

以上のような意味あいか

「広報とちお」の発刊によつて、市民は一般市民に知らせ、市民はそれを知ることによつて、栃尾市最善の建設が行なわれ得るものと考へます。

市行政はもろもろ、人間生活のすべての営みは「世間の理解と、信頼と支持を」得るものでなければなりません。

もし、公衆とのつながりを守つた広報活動が、不完全であると、疑惑や、反感や不信の、好ましくない事態が起る心配があります。

以上のような意味あいか

「広報とちお」の発刊によつて、市民は一般市民に知らせ、市民はそれを知ることによつて、栃尾市最善の建設が行なわれ得るものと考へます。

市行政はもろもろ、人間生活のすべての営みは「世間の理解と、信頼と支持を」得るものでなければなりません。

もし、公衆とのつながりを守つた広報活動が、不完全であると、疑惑や、反感や不信の、好ましくない事態が起る心配があります。

以上のような意味あいか

### 中野侯村、半蔵金村合併による市勢の概要

面積	203,7平方軒
人口	38,455人
世帯数	7,029戸
田	23,153反
畑	15,671
地	2,483
林	78,969
野	2,138
その他	1,453
議員	30人
委員	2
議長	111
区	83
消防団員	2,384

「広報とちお」の発刊によつて、市民は一般市民に知らせ、市民はそれを知ることによつて、栃尾市最善の建設が行なわれ得るものと考へます。

市行政はもろもろ、人間生活のすべての営みは「世間の理解と、信頼と支持を」得るものでなければなりません。

もし、公衆とのつながりを守つた広報活動が、不完全であると、疑惑や、反感や不信の、好ましくない事態が起る心配があります。

以上のような意味あいか

「広報とちお」の発刊によつて、市民は一般市民に知らせ、市民はそれを知ることによつて、栃尾市最善の建設が行なわれ得るものと考へます。

市行政はもろもろ、人間生活のすべての営みは「世間の理解と、信頼と支持を」得るものでなければなりません。

もし、公衆とのつながりを守つた広報活動が、不完全であると、疑惑や、反感や不信の、好ましくない事態が起る心配があります。

以上のような意味あいか

「広報とちお」の発刊によつて、市民は一般市民に知らせ、市民はそれを知ることによつて、栃尾市最善の建設が行なわれ得るものと考へます。

市行政はもろもろ、人間生活のすべての営みは「世間の理解と、信頼と支持を」得るものでなければなりません。

もし、公衆とのつながりを守つた広報活動が、不完全であると、疑惑や、反感や不信の、好ましくない事態が起る心配があります。

以上のような意味あいか

### 市役所職員数

役員	3人
事務職員	128
技術職員	4
保健婦員	4
手丁	1
丁	3
夫	22
計	9
計	10
計	184

## 新生活運動の基本的な考え方について ①

「広報とちお」の発刊によつて、市民は一般市民に知らせ、市民はそれを知ることによつて、栃尾市最善の建設が行なわれ得るものと考へます。

市行政はもろもろ、人間生活のすべての営みは「世間の理解と、信頼と支持を」得るものでなければなりません。

もし、公衆とのつながりを守つた広報活動が、不完全であると、疑惑や、反感や不信の、好ましくない事態が起る心配があります。

以上のような意味あいか

「広報とちお」の発刊によつて、市民は一般市民に知らせ、市民はそれを知ることによつて、栃尾市最善の建設が行なわれ得るものと考へます。

市行政はもろもろ、人間生活のすべての営みは「世間の理解と、信頼と支持を」得るものでなければなりません。

もし、公衆とのつながりを守つた広報活動が、不完全であると、疑惑や、反感や不信の、好ましくない事態が起る心配があります。

以上のような意味あいか

「広報とちお」の発刊によつて、市民は一般市民に知らせ、市民はそれを知ることによつて、栃尾市最善の建設が行なわれ得るものと考へます。

市行政はもろもろ、人間生活のすべての営みは「世間の理解と、信頼と支持を」得るものでなければなりません。

もし、公衆とのつながりを守つた広報活動が、不完全であると、疑惑や、反感や不信の、好ましくない事態が起る心配があります。

以上のような意味あいか

「広報とちお」の発刊によつて、市民は一般市民に知らせ、市民はそれを知ることによつて、栃尾市最善の建設が行なわれ得るものと考へます。

市行政はもろもろ、人間生活のすべての営みは「世間の理解と、信頼と支持を」得るものでなければなりません。

もし、公衆とのつながりを守つた広報活動が、不完全であると、疑惑や、反感や不信の、好ましくない事態が起る心配があります。

以上のような意味あいか

## 「広報とちお」の発刊に際して

「広報とちお」の発刊に際して、市民は一般市民に知らせ、市民はそれを知ることによつて、栃尾市最善の建設が行なわれ得るものと考へます。

市行政はもろもろ、人間生活のすべての営みは「世間の理解と、信頼と支持を」得るものでなければなりません。

もし、公衆とのつながりを守つた広報活動が、不完全であると、疑惑や、反感や不信の、好ましくない事態が起る心配があります。

以上のような意味あいか